



2008年度「メセナ活動実態調査」結果 芸術の特性いかし、領域広げるメセナ

社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区丸の内1-8-2、理事長:福地茂雄/日本放送協会会長)は、2008年4~5月に全国の上場企業、協議会会員企業等計4,434社を対象に、メセナ(芸術文化支援)活動の動向について、アンケートによる調査を実施しました(有効回答数は662社、回答率は14.9%)。

2007年度にメセナ活動を実施したと回答した企業は460社(69.5%)で、その活動総件数は3,034件、1社当たりの平均活動件数は6.6件でした。メセナ活動費総額については404社が回答、その合計は264億9,591万円で、1社当たりの平均活動費総額は6,558万円、中央値は908万円です。

領域を横断する「複合型メセナ」への取り組み

今年度の調査では、近年のメセナにみられる特徴の一つとして、芸術分野と他分野の「複合型メセナ活動」実施状況について尋ねました。その結果、メセナ実施企業460社のうち、183社(39.8%)が複合型メセナを行ったと回答。どの分野との複合かについては「青少年教育」と「まちづくり・地域活性化」が同率(43.7%)で最も多く、「福祉・医療」(30.1%)、「環境」(23.5%)、「国際交流・多文化共生」(23.5%)が続きました。

具体例として、NPOと協働してアーティストを学校に派遣し、交流を通して子どもたちのコミュニケーション力を高める活動や、地域文化の活性化をめざし、ミュージアムを拠点とした市民活動を支援する助成制度、などが挙げられました。[具体例は添付資料 参照]

こうしたプログラムからは、企業がメセナ・社会貢献活動を通じて数々の社会課題に向き合ってきた経験をもとに、領域横断的な発想で活動に取り組んでいることがうかがえます。これまで単独の分野で行ってきた活動と芸術文化のもたらす新たな視点が融合することで、その成果に広がりが見られます。

“エピソード”によるメセナの評価～「メセナ活動を通じて企業が得たこと」の回答にみる成果

企業メセナ協議会・調査部会では、メセナの定性評価の一手法として、活動の成果に関するエピソードを活用することを提案しています()。調査項目「メセナ活動を通じて企業が得たこと」の記述回答を分析する中で、活動によって何が変わったのかを具体的に示すエピソードの力に注目し、それを積み重ねることでメセナの定性的な評価が可能になると考えたからです。

この「エピソード評価」という手法の有効性を検討するため、今回の調査においても同項目を設定し、エピソードの収集を行いました。回答の中には、社会との積極的な関わりを通じ、メセナ活動が地域社会や芸術文化環境の向上に欠かせない存在になっているという実感や、メセナを行ったことが企業活動に活力を与えていることがうかがえるものが多数ありました。[具体例は添付資料 参照]

調査部会では、エピソードの集積から、メセナが社会に与えるインパクトや企業活動への好影響を測れるのではないかと考え、分析を進めています。

詳細については、「2007年度メセナ活動実態調査報告書」(発行:社団法人企業メセナ協議会、2008年3月)をご覧ください。

< 2008年度「メセナ活動実態調査」おもな調査結果 >

「メセナ活動実態調査」では、宣伝広告費、広報費などの経費で支出した活動も対象であるが、販売促進を主目的とする場合は対象としない。また、スポーツ、学術研究、福祉、環境問題等への支援は対象としない。

メセナ活動の実績

[MA] = 複数回答

メセナ活動の実施状況	・「メセナ活動を行った」と答えた企業は 460社 (69.5%) ・活動総数は 3,034件 で前年比 215件 増、1社当たりの件数は平均 6.6件
メセナ活動の芸術分野[MA]	・「音楽」 334社 (72.6%)が最多、次いで「美術」 260社 (56.5%)、「伝統芸能」 141社 (30.7%)など
メセナ活動の実施方法[MA]	・「他団体への支援・提供」 391社 (85.0%)、「自主企画・運営」 270社 (58.7%) ・「他団体への非資金支援(マンパワー、場所、製品・サービス、技術・ノウハウ等)」 187社 (40.7%)
メセナ活動費総額	・活動費総額合計は404社で 264億9,591万円 、1社平均は 6,558万円 ・1,000万円未満の企業が 50.2% ・9年連続回答企業(75社)の平均活動費は 1億3,350万円 (9年間同水準)

メセナ活動の取り組み

メセナ活動の運営体制[MA] [予算・方針・担当部署]	・「メセナ活動の予算を決めていた」企業は 363社 (78.9%) ・「基本方針を策定していた」企業は 248社 (53.9%) ・「文化・社会貢献等の専任部署」が設けられている企業は 108社 (23.5%)
メセナ活動の重視点[MA]	・「地域文化の振興」 282社 (61.3%)、「芸術文化の啓発・普及」 279社 (60.7%)は6割以上の企業が選択 ・「青少年への芸術文化教育」 173社 (37.6%)は、この5年間継続的に増加
メセナ活動の支援先やパートナーについて[MA]	・パートナーを組んだ相手は「芸術の専門家」(65.3%)が最多で、そのうち32.7%はNPO法人 ・支援先やパートナーの選択基準「芸術的な質の高さ」 244社 (53.0%)が最多
メセナ活動の評価[MA]	・「参加者・来場者の評価(感想等)」 291社 (63.3%)が最多 ・今年度より選択肢に加えた「ステークホルダーの評価」は 76社 (16.5%)
メセナ活動とCSR(企業の社会的責任)の関連	・「メセナ活動をCSRの一環として位置付けている」企業は 322社 (70.0%) ・「今後CSRの一環に含めていく」と回答した企業と合わせると 406社 (88.3%)

📊 グラフは別冊の「メセナリポート2008」に掲載。ご参照ください。

▶11月15日、調査結果の概要をまとめた「メセナリポート2008」を発行、各社の活動はウェブにて公開します(メセナ活動データベース「メセナビ」<http://www.mecenavi.info/>)

【本件に関するお問い合わせ先】

社団法人企業メセナ協議会 広報担当:内田、調査担当:伴

TEL: 03-3213-3397 FAX: 03-3215-6222 E-mail: mecenat@mecenat.or.jp

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄鋼ビル1階 URL: <http://www.mecenat.or.jp/>

社団法人企業メセナ協議会

企業によるメセナ(芸術文化支援)活動の推進を目的とする民間企業の連合体として、1990年2月に発足した公益法人。主な事業として、企業の芸術文化支援についての、1.啓発・普及、2.情報集配、3.調査・研究、4.顕彰、5.国際交流、6.助成認定を行っている。会長:福原義春(株式会社資生堂名誉会長)、理事長:福地茂雄、正会員149社、準会員39団体(2008年6月現在)。

「メセナ活動実態調査」とは

(社)企業メセナ協議会が、全国の企業を対象に1991年より毎年実施している、企業の芸術文化支援に関する調査。メセナ活動の統計調査および事例収集を通じ、企業メセナの課題や展望を探る手がかりとする。調査結果は、企業の文化・社会貢献活動についての代表的なデータとして、企業・行政・研究機関・海外の文化機関等に広く活用されている。調査の企画・分析は、協議会会員企業のメセナ担当者で構成する調査部会が行う。